INFORMATION

-マンルネッサンス研究所創立15周年記念フォーラム

これからの生き方と社会を考える

2005年11月2日

於 東京プリンスホテル パークタワー コンベンションホール





提起と議論が展開されました。 動するゲストより、地に足の着いた問題 続くテーマ別セッションでは、現場で活

課題であることが確認されました。 係の構築こそ、目指すべき未来への重要な まな「際」を崩しながら、相補的な協働関 ンでは、個人間、世代間、地域間、さまざ て、全ゲストが一堂に会した統合セッショ 家で演出家でもある平田オリザ氏、そし 療所長の色平哲郎氏、「まなぶ」では劇作 藤啓氏、「くらす」では長野県南相木村診 PO法人DNA代表理事の渡邉大輔氏 NPO法人「育て上げ」ネット理事長の工 「はたらく」では、若者社会活動支援N

年11月2日にフォーラムを開催しまし とができました。 き、おかげさまで盛会のうちに終えるこ た。400名近くの皆様にご参加いただ HRIでは、創立15周年を記念して、昨

をいただきました。 テーマに、専門家と非専門家が対峙する 指すべき社会の重要な局面の一つと提言 から意思決定が進められる社会こそ、目 のでなく、協働関係、相補的な関係の中 技術と社会の成熟した関係とは~」を 律社会へのセカンドルネッサンス~科学 教授の村上陽一郎先生をお招きし、「自 基調講演では、国際基督教大学大学院

立石義雄

PHP研究所 定価1400円(税別)

すでに「工業社会」から「最適化社会」へ

パラダイム・シフトは始まっている。

向かうためのパラダイム・シフトこそ、最適 化なのでしょう? 私たちは、「自律社会」に 会」元年と位置づけられています。この「最 測シナリオでは、2005年は「最適化社 化社会の特徴だと考えています。 適化」とは、どんな未来社会に向かった最適 オムロンのS-N-C理論による未来予

業であるために、オムロンでは経営、事業、 こと、そして「最適化社会」を迎えた今、こ 長時代に、未来への改革に取り組んできた 革に取り組んでいます。 個人、これら三つの自律を目指し、不断の改 れからの展望について、わかりやすくまと 本書は、著者・立石義雄がこれまでの社

「自律社会」という未来から選ばれる企

時代に先駆ける経営のあり方を語る!社会、企業、生活の変化を鋭く「感知」し、

52

連絡ください。

ております。ご希望の方は、編集部までご

めたものです。

ご一読いただければ幸いです

なお、本フォーラムのレポートを発行し

一石義雄 著(株)ヒューマンルネッサンス研究所代表取締役会長 オムロン株)代表取締役会長

ばれる企